

家庭用コンポストバッグでつくった堆肥で地域の花壇整備 「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリアプロジェクト」で

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社(H2O、本社・大阪市北区、荒木直也社長)は、兵庫県川西市において行っている「地域とともに実現する食品廃棄ゼロエリアプロジェクト」で、地域の家庭から出る生ごみを堆肥化し、街に花や植物を増やす取り組み「フードロスゼロチャレンジデイズ」を実施、2022年12月10日、できた堆肥を使って花壇を整備しました。堆肥は、川西市の文化・福祉の複合施設であるキセラ川西プラザ内の「花と緑の広場」に、シクラメン、ラベンダーなど今後の新たな地域の自然を育む資源として引き継がれました。この花壇は、今後 H2O グループの川西エリアの取り組みを象徴する場として、地域住民の方とともに段階的に整備を行っていく予定です。

食品廃棄ゼロエリアを目指すこのプロジェクトにおける家庭での食品廃棄物削減取り組みとして、家庭用コンポストバッグによって生ごみを堆肥化する「フードロスゼロチャレンジデイズ」を2022年10月19日から21日間実施しました。地域住民に加えて、越田謙治郎川西市市長や松木茂弘副市長、市職員、同市内の H2O グループ店舗従業員、総勢38世帯が取り組み、合計で138.9キログラムの生ごみが堆肥となりました。

「フードロスゼロチャレンジデイズ」の概要と、花壇整備の内容は下記の通りです。

【概要】

- 参加数 : 38世帯(地域住民、川西市市長、副市長を含む市職員、H2O グループ従業員など)
- 実施期間 : 2022年10月19日～11月8日(21日間)
- 生ごみ削減総量 : 138.9キログラム
- 協力パートナー : 株式会社地球 Labo(大阪市北区、代表取締役上野晴人)
家庭用生ごみを堆肥化するコンポストバッグ・プランターなどの製造・販売

【花壇整備】

- 日時 : 2022年12月10日午後1時30分～2時
- 場所 : キセラ川西プラザ「花と緑の広場」(兵庫県川西市)
- 出席者 : 越田謙治郎・兵庫県川西市市長、「フードロスゼロチャレンジデイズ」参加者22名
- 堆肥使用量 : 約90キロ



花壇整備当日の様子

